

レガシィのリコールについて

平成22年7月29日

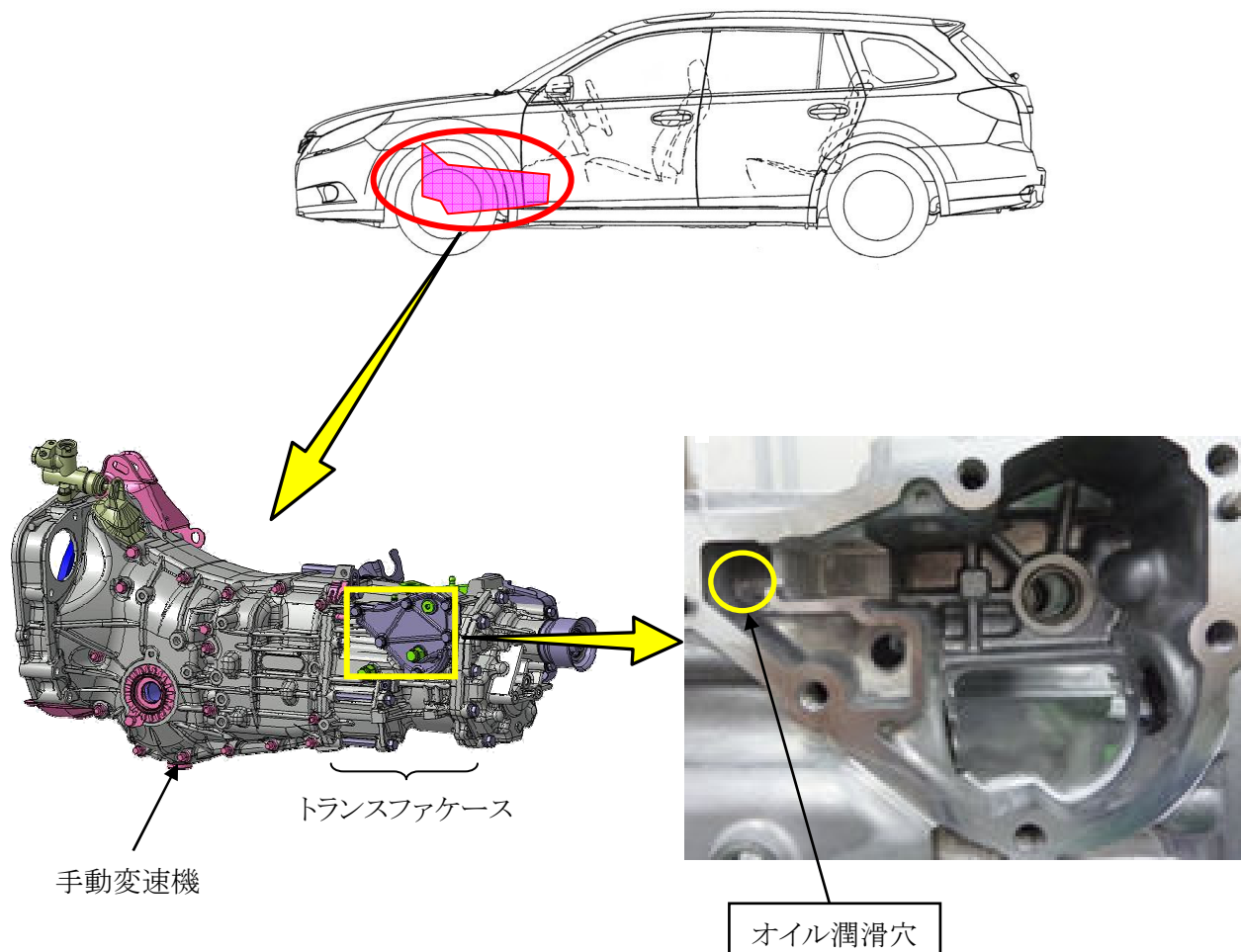
平成22年7月29日、富士重工業株式会社より、国土交通省にレガシィのリコールを届け出いたしました。

リコール届出番号	2579	リコール開始日	平成22年7月29日
不具合の部位(部品名)	手動変速機(トランスファケース)		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	手動変速機のトランスファケースにおいて、製造工程の加工プログラムが不適切なため、オイル潤滑穴が加工されていないものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、オイル潤滑不良によってギヤ等が破損し、最悪の場合走行不能になるおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、オイル潤滑回路加工を行う。尚、走行距離が10,000kmを超えている場合は、手動変速機の内部部品を交換する。		
不具合件数	0件	事故の有無	0件
発見の動機	部品メーカーからの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者:ダイレクトメール、直接訪問又は電話で通知する。 ・自動車分解整備事業者:日整連発行の機関誌に記載する。 ・改善実施済車には、運転席側ドア開口部のドアロックストライカー付近にNo. 2579のステッカーを貼付する。 		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
スバル	DBA-BM9	レガシィ	BM9-010419 ~ BM9-013927 平成22年 3月26日~平成22年 6月16日	38	
	DBA-BR9		BR9-024120 ~ BR9-033121 平成22年 3月29日~平成22年 6月19日	59	
	(計2型式)	(計1車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成22年 3月26日~平成22年 6月19日	(計97台)	

※対象車の車体番号及び製作期間の範囲には、対象にならない車体も含まれる場合がありますので、詳しくは最寄りの販売店にお問い合わせください。

改善箇所説明図



基準不適合発生箇所

手動変速機のトランスファケースにおいて、製造工程の加工プログラムが不適切なため、オイル潤滑穴が加工されていないものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、オイル潤滑不良によってギヤ等が破損し、最悪の場合走行不能になるおそれがある。

改善内容

全車両、オイル潤滑回路加工を行う。尚、走行距離が10,000kmを超えている場合は、手動変速機の内部部品を交換する。

識別

手動変速機の型式号機ラベル横に緑のマーキングをする。

注: は改修部位を示す。

リコール対象車の主要諸元

車名	型式	通称名	種別・用途	車体の形状	原動機の型式(総排気量(cc))	備考
スバル	DBA-BM9	レガシィ	普通・乗用	箱型	EJ25(2,457)	
	DBA-BR9			ステーション・ワゴン	EJ25(2,457)	